

Title	プログラム
Author(s)	
Citation	年次学術大会講演要旨集, 17: 4-19
Issue Date	2002-10-24
Type	Others
Text version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/10119/5917
Rights	本著作物は研究・技術計画学会の許可のもとに掲載するものです。This material is posted here with permission of the Japan Society for Science Policy and Research Management.
Description	プログラム

10月25日（金）9:00～10:30

	A会場（大研修室）	B会場（中研修室）
	一般講演（ホットイシュー） 地域発の研究開発体制 座長 伊地知 寛博	一般講演（ホットイシュー） 科学技術関連政策の新ビジョン 座長 丹羽 富士雄
9:00	1A01 中国地域の産学官連携マスタープラン ○田辺孝二（経産省）……………21	
9:15	1A02 地域産業集積型“イノベーションポリス” 形成要素—自己評価表を通して、今後の各 地産業集積のあり方を展望する— ○前田 昇（高知工科大工学），端山隆三， 服部博美（科学技術振興事業団），関 春 夫（群馬県中小企業振興公社），西岡純二 （北海道電力），坂田敦子（くまもとテク ノ産業財団），松吉恭裕（愛知県科学技術 交流財団）……………23	1B02 新時代のイノベーション政策—供給サイド 技術中心政策からの転換 ○徳増伸二（経産省），渡辺千仞（東工大 社会理工学）……………59
9:30	1A03 ベンチャー・クラスターとしての熊本モデ ル—大学発バイオベンチャーを中心に— ○近藤正幸（横国大環境情報研）……………27	1B03 技術政策としてのビジョンと大学システム ○田辺孝二（経産省），渡辺千仞（東工大 社会理工学）……………63
9:45	1A04 浜松地域における地域クラスターの現状と 課題 ○岡本信司（静岡大地域共同研）……………31	1B04 社会経済への浸透過程における技術の性格 形成メカニズム：製造技術とITとの比較分 析—情報社会に対応する技術政策への覚醒 — ○渡辺千仞（東工大社会理工学）……………67
10:00	1A05 韓国のNSIの変化と地域イノベーション・ クラスターの成長—テドク・バレーを中心 に— ○姜 榮柱（東北大経済）……………35	1B05 Comparative Analysis of Institutional Elasticity for Maximizing the Effect of Industrial Technology Policy – Comparison of Diffusion Trajectory of PV Technology in Japan, USA and Europe ○朱 兵，渡辺千仞（東工大社会理工学） ……………71
10:15	1A06 米国ワシントン大学ビジネスプランコンテ ストとの連携による新産業創造 ○永井千秋（新産業創造研究機構），江藤 洋子（兵庫県）……………39	1B06 「製品サービス融合型産業」政策の立案— プラント・エンジニアリング産業の事例か ら— ○後藤芳一，伊藤正雄（経産省），垣田行 雄（日本システム開発研究所），岸本健夫 （千代田化工建設），野田研治（日立製作 所）……………75

C会場（中会議室1）	D会場（中会議室2）	
一般講演 地域研究開発機関	一般講演 科学技術・研究開発のマクロ実態	
座長 亀岡 秋男	座長 富澤 宏之	
	1D01 ストック型社会形成に寄与するセメント・コンクリート ○副田孝一（太平洋マテリアル）……129	9:00
	1D02 科学技術に関する国民意識の詳細分析 ○岡本信司（静岡大地域共同研）……133	9:15
1C03 地域科学技術政策としての公設試験研究機関の現状と課題 ○佐脇政孝（未来工研）……91	1D03 科学技術国際協力に関する現状の分析 ○川崎弘嗣，小林信一（文科省・科学技術政策研）……137	9:30
1C04 変わる産総研九州センター—西からイノベーションの風を— ○清水 肇（産総研九州センター）……95	1D04 日本の各大学における国際研究ネットワーク形成過程 ○山下泰弘（科学技術振興事業団）孫媛，西澤正巳（国立情報学研），小林信一（筑波大大学研）……141	9:45
1C05 病院感染対策の地域連携システムの構築—KRICT（Kitakyusyu Regional Infection Control Team）— ○谷口初美（産業医科大），熊澤浄一（北九州市立医療センター），澤江義郎（新小倉病院），松本哲朗（産業医科大）……99	1D05 知識の体系化による技術開発支援システム 信夫千佳子（甲子園大経済情報学），○布瀬雅義（住友電工）……145	10:00
1C06 大学・TLOにおける特許出願の動向と技術移転に関する一考察 ○大谷健治，亀岡秋男（北陸先端科学技術大学院大）……101	1D06 国際共同研究開発プログラムのマネジメント・ロードマップ ○林 隆之（大学評価・学位授与機構），平澤 冷（政策研究大学院大）……149	10:15

10月25日（金）10:30～12:00

	A会場（大研修室）	B会場（中研修室）
10:30	1A07 研究開発ベンチャーとクラスター戦略―フ クオカベンチャーマーケット（FVM）の展 開を踏まえて― ○坂口光一（九大）……………43	1B07 フェムト秒テクノロジー・プロジェクトの 戦略と課題 ○吉川宗史郎（技術研究組合フェムト秒テ クノロジー研究機構）……………79
10:45	1A08 R&Dによる地域産業創造と活性化―コー ディネーター体制からプロデューサー体制 への転換― ○Songwook Kwon（東北大経済）…47	1B08 研究開発プロジェクトの評価における総合 科学技術会議の委員の国際比較 ○三條正裕，藤末健三（東大工学）……83
11:00	1A09 人と人との創発的ネットワーク構築に向け て―賢人プログラム活動― ○渡部順一（国立福島工業高専），佐藤安 太（佐藤創造研究所）……………51	1B09 研究開発プロジェクトにおける総合科学技 術会議の事務局スタッフの国際比較 ○三條正裕，藤末健三（東大工学）……87
11:15	1A10 漆喰成形体開発とその展望 行平信義（田川産業），長田純夫（福岡 大），○谷口智弘（田川産業）……………55	1B10～1B12 討論
11:30	1A11～1A12 討論	
11:45		
12:00		

10月25日（金）12:15～12:45

	学術情報センター（遠隔会議室）
12:15	総 会
12:45	

C会場（中会議室1）		D会場（中会議室2）	
一般講演 ベンチャー		座長	
1C07 スタートアップ企業の盛衰支配要因の分析 ○光定建治，渡辺千仞（東工大社会理工学）……………105		1D07 国際的なプロジェクトマネジメントルールへの政策的関与—日本発のマネジメント体系（P2M）の事例から— ○後藤芳一，伊藤正雄（経産省），石倉政幸（プロジェクトマネジメント資格認定センター），小原重信（千葉工大）……153	10:30
1C08 ベンチャー経営における危機と再起の条件 ○高津義典（香川大工学）……………109		1D08 グローバルスビルオーバー時代の先進国・発展途上国間における技術距離と技術能力向上のための戦略に関する分析 ○Kuswan Wahju Murianto，渡辺千仞（東工大社会理工学）……………157	10:45
1C09 社内ベンチャーの新コンセプト考察—「インサイド・スピノフ型」による新事業創出— ○宮野尾哲司（松下電工），前田 昇（高知工科大工学）……………113		1D09 WTO加盟後の中国の発展軌道のシステム選択 ○横山 聡，渡辺千仞（東工大社会理工学）……………161	11:00
1C10 バイオベンチャーの現状と今後の課題 塚本芳昭，濱田昌良，元木一朗，○根布朋和（経産省）……………117		1D10 「集中研&事務局」体制運営の分析と予測 ○吉川宗史郎（技術研究組合フェムト秒テクノロジー研究機構）……………165	11:15
1C11 バイオベンチャーの日本の経営の可能性について：水飴製造企業からバイオ企業に転換した林原生物化学研究所の事例を基に ○藤原孝男（豊橋技術科学大）……………121		1D11 政府が関係する研究開発プロジェクトの構造・評価・マネジメントのあり方 ○辻本将晴（慶應義塾大）……………169	11:30
1C12 ITベンチャー企業の経営戦略とイノベーション創出プロセス ○成瀬正史，亀岡秋男（北陸先端科学技術大学院大）……………125		1D12 学術研究活動のボーダレス化と資金供給システム ○山本眞一，○加藤 毅（筑波大大学研）……………173	11:45

12:00

10月25日（金）13:00～18:30

会議場（メインホール）	
公開特別講演	
司会 花嶋 正孝	
13:00	北九州市の環境産業振興における産学官の連携 末吉 興一（北九州市長）……………177
13:45	環境ビジネスの成り立つ条件 宗政 伸一（株式会社サニックス社長）……………179
シンポジウム 「地域発に学ぶ新イノベーションシステム」……………182	
司会 谷口 邦彦	
14:30	基調講演 第三世代の産学官連携 長田 純夫（福岡大学工学部教授，北九州産学連携推進室長）……………183 地域イノベーションシステムにおけるハイテクベンチャーの役割 —欧米クラスター成功要素から見た日本の地域産業集積への提言— 前田 昇（高知工科大学大学院起業家コース教授）……………187
事例報告	
研究開発コンプレックスを基盤とする新産業創造 永井 千秋（財団法人新産業創造研究機構事務局長）……………192	
K-RIP（九州地域環境・リサイクル産業プラザ）の発想と活動 川崎 順一（新日本製鐵株式会社八幡製鐵所総務部開発企画グループ部長）…196	
弊社のレンタルシステム戦略 吉村 清己（エイコーシステムズ株式会社社長）……………199	
産のニーズを基にした産学官連携活動—岡山県のネットワーク構築型RSP事業の例— 稲村 實（岡山県産業振興財団科学技術コーディネータ）……………203	
スイートバレー構想と産学官連携 柴田 勝喜（財団法人岐阜県研究開発財団理事・コーディネータ）……………210	
ディスカッサント	
産学連携の現状と展望 加藤 善一（文部科学省研究振興局研究環境・産学連携課長）……………214	
経済活性化へ向けた今後の産学連携のあり方について —「知の創造」と「事業創造」のイノベーションサイクル構築へ向けた課題—概要 橋本 正洋（経済産業省産業技術環境局大学連携推進課長）……………219	
廃棄物処理等科学研究費補助金による研究・技術開発 森谷 賢（環境省廃棄物・リサイクル対策部産業廃棄物課長）……………228	

18:30

10月26日（土）8:30～10:15

	A会場（大研修室）	B会場（中研修室）
	一般講演（ホットイシュー）産学連携1 産学官連携の実態分析 座長 渡部 俊也	一般講演（ホットイシュー） 循環型社会の可能性と有効性 座長 長田 純夫
8:30	2A01 産官学連携の実態に関する定量的分析：ハイテクベンチャーの重要性 ○元橋一之（一橋大イノベーション研／経済産業研）……………233	2B01 企業はなぜ環境対策をするのか—ステークホルダーによる分析— ○杉江周平，藤垣裕子（東大総合）…337
8:45	2A02 九州地域における産学官連携の新たな展開 ○長原徳美（九州経済産業局），長田純夫（福岡大）……………237	2B02 事業最前線で感じているリサイクル事業政策に必要な視点 ○鹿子木公春（西日本ペットボトルリサイクル）……………341
9:00	2A03 宮城県における産学連携の現状とは？—過去の施策からの考察— ○及川 忍，原山優子（東北大工学）……………242	2B03 循環型社会へ向けたグリーン・イノベーションの発現：化学プロセス産業における事例研究からの視点 ○鎗目 雅（東大先端経済工学研）…345
9:15	2A04 製造業における技術移転モデルの研究—製造業における産学技術移転のあり方に関する懇話会中間報告— ○大崎 寿，芹川 正，飯島百子（東大先端研），中山千秋（先端科学技術インキュベーションシステムズ），渡部俊也（東大先端研）……………246	2B04 循環型社会へ向けての取り組み—「いわきグリーンプロジェクト研究会」の試みを中心として— ○渡部順一（国立福島工業高専），佐野正（日本化成）……………349
9:30	2A05 バイオ・ベンチャー企業—バイオテクノロジー分野の産学連携の仲介機関— ○中村吉明（経済産業研）……………250	2B05 環境ビジネスの成り立つ社会的条件 ○長田純夫（福岡大）……………353
9:45	2A06 大学発ベンチャーの産業別等特性分析 近藤正幸（横国大環境情報研），○長谷川光一（未来工研）……………254	2B06 九州地域における環境産業クラスターの実現に向けて ○中下啓志（九州産業経済局），木下真一郎（九州地域環境リサイクル産業交流プラザ）……………357
10:00	2A07 討論	2B07 地方自治体における循環型社会の構築—福岡県が目指す新たなシステム作り— ○櫻井利彦，徳永隆司，渡辺 章（福岡県リサイクル総合研究センター）……………361

C会場（中会議室1）	D会場（中会議室2）	
一般講演 人材養成	一般講演 産業レベルのイノベーション	
座長 竹下 寿英	座長 原 陽一郎	
		8:30
		8:45
	2D03 IT化・グローバル化・メガコンペティション下における基幹産業の生存戦略—レジリ アンス及びコンソーシアム戦略による複合 多元的課題への同時対応— ○岸岡三春, 渡辺千仞（東工大社会理工 学）579	9:00
	2D04 Competition and Innovation - Diffusion Trajectory of Mobile Telecommunication in Japan and Taiwan - ○陳 昭蓉, 渡辺千仞（東工大社会理工 学）582	9:15
2C05 我が国における評価人材の課題 ○大熊和彦（政策科学研），平澤 冷（政 策研究大学院大）463	2D05 Tracing Path of Agile Technology Spillover: A Matter of Fact on Japan Automotive Industry's Performance ○Bernadetta Kwintiana Ane, 渡辺千仞 （東工大社会理工学）586	9:30
2C06 産業ビジネス系学科におけるMOT教育 ○谷口邦彦（大阪大／羽衣国際大） ...467	2D06 ファインセラミックス産業の成長軌道につ いての実証分析 ○森崎省吾（東工大社会理工学），大村 昭（日本ガイシ），渡辺千仞（東工大社会 理工学）590	9:45
2C07 求められている技術者教育—環境・安全・ 安心分野— ○村田賢彦（未来工研），小林俊哉（東大 先端研），石正 茂，土屋江里（科学技術 振興事業団）471	2D07 Technological and Geographical distance - Empirical analysis of its correlation. Case Japan. ○Carlos Carvajal, 渡辺千仞（東工大社会 理工学）594	10:00

10月26日（土） 10:15～12:00

	A会場（大研修室）	B会場（中研修室）
	一般講演（ホットイシュー）産学連携2 大学側連携組織の事例と問題点 座長 隅 藏 康一	
10:15	2A08 大学発ベンチャーの育成と新たな試み： TBIプログラムの事例 ○廣瀬弥生，津村重彰，渡部俊也（東大先端研）……………258	2B08 北九州エコタウンにおける相互連携の可能性とゼロエミッション化 垣迫裕俊，小林一彦，大庭千賀子，○玉井健司（北九州市環境局）……………365
10:30	2A09 東京大学先端科学技術研究センターにおける「戦略的研究拠点構築」の試み ○小林俊哉（東大先端研）……………262	2B09 北九州市におけるPCB廃棄物処理に関する取り組み 垣迫裕俊，谷上 昇，柴田泰平，○津村和規（北九州市環境局）……………368
10:45	2A10 国立大学TLOに自立と競争を ○木下 晋，藤末健三（東大工学）…266	2B10 溶剤の蒸留リサイクル ○神森幸二，宮原克彦（新菱）……………372
11:00	2A11 TLOの2004年問題の考察 ○渡部俊也（東大先端研）……………270	2B11 未来へつなぐ蛍光管リサイクルへの挑戦 ○山田建夫（ジェイ・リライツ）………376
11:15	2A12 日本の技術移転マーケットの真の活性化を目指して ○山崎蘭加，小野奈穂子（東大先端研），鈴木 潤（未来工研），玉井克哉（東大先端研）……………274	2B12 廃棄物の前処理技術の開発 ○森 泰彦，川崎順一（新日本製鐵）……………378
11:30	2A13～2A14 討論	2B13～2B14 討論
11:45		

C会場（中会議室1）	D会場（中会議室2）	
一般講演 研究開発体制と動向 座長 竹下 寿英		
2C08 米国ナノテクノロジーの研究開発体制 ○山本尚利（SRIグループ）……………475	2D08 多品目で構成される産業の市場規模の推計 —プラント・エンジニアリング産業の市場 規模推計の事例から— ○小松原隆（日本システム開発研究所）， 宮脇邦彦（東洋エンジニアリング），伊藤 正雄，後藤芳一（経産省）……………598	10:15
	一般講演 企業の戦略 座長 齋藤 富士郎	
2C09 バイオテクノロジー産業化の現状と課題 塚本芳昭，濱田昌良，元木一郎，○根布朋 和（経産省）……………479	2D09 戦略策定の要件 ○山崎宏之（三菱電機），山田郁夫（三菱 総研），馬場準一（三菱電機）……………602	10:30
2C10 バイオ科学技術の動向分析：「細胞接着」 を例にして ○天野美香，白楽ロックビル（お茶の水女 子大理学）……………483	2D10 中小企業の研究開発 ○小川雅敏，渡辺千仞（東工大社会理工 学）……………606	10:45
一般講演 研究開発と制度のコンフリクト 座長 竹下 寿英		
2C11 バイオ研究者の事件にみる研究費の問題と 改善 ○松尾未亜，白楽ロックビル（お茶の水女 子大理学）……………487	2D11 企業の多角化戦略と技術のスピルオーバー ○松本清文（キヤノン），渡辺千仞（東工 大社会理工学）……………610	11:00
2C12 環境規制による技術変化の実証的考察 ○田村 誠，藤垣裕子（東大総合）…491	2D12 R&D Cooperation Cycles and Interaction Friendly R&D Structure ○Hur Jae Yong，渡辺千仞（東工大社会理 工学）……………614	11:15
2C13 企業会計基準の変更とR&D—影響企業の傾 向分類— ○吉澤健太郎，小林信一（文科省・科学技 術政策研）……………495	2D13 企業評価と研究開発 ○梅田健一，渡辺千仞（東工大社会理工 学）……………618	11:30
2C14 「日本型コーポレート ガバナンス」の強化 とその他の技術経営展開 ○松原健夫（立命館大社会システム研） ……………499	2D14 新興企業の成長にみる国際比較 ○長田直俊（日本規格協会），渡辺千仞 （東工大社会理工学）……………622	11:45

10月26日（土）13:00～14:30

	A会場（大研修室）	B会場（中研修室）
	一般講演（ホットイシュー）産学連携3 インキュベーションの実態と関連連携人材 座長 小林 俊哉	一般講演 技術経営1 座長 旭岡 勝義
13:00	2A15 ビジネス・インキュベーションの理論と実践—米国のビジネス・インキュベーションの仕組みと北九州への導入の試み ○古瀬利博，○安永浩善（北九州市産業学術振興局），内田健一（北九州産業学術推進機構）……278	2B15 リストラに頼る企業は生き残れるのか ○徐 方啓（北陸先端科学技術大学院大）……382
13:15	2A16 インキュベータ運営の米国モデル 渡部俊也（東大先端研），緒方三郎，○森康子（未来工研）……282	2B16 技術からの価値創出のビジネスモデル ○近藤正幸（横国大環境情報研）……387
13:30	2A17 国内インキュベーション施設と起業家・投資家側の意識の現状について 渡部俊也（東大先端研），○緒方三郎（未来工研），小林俊哉（東大先端研）…286	2B17 研究開発における目標管理の再吟味—個人の創造性とテーマ管理・成果主義を結ぶマネジメントへ— ○斎藤一雄（カネカ・クリエイティブ）……391
13:45	2A18 大学研究者の教育及び研究に関する意識 ○西村由希子（東大先端研），山岸朋恵（CASTI），隅蔵康一（政策研究大学院大）……290	2B18 研究開発フロー&ストック・ダイアグラムに基づいた，エレクトロニクス企業における開発過程の研究 ○齋藤富士郎（産総研）……395
14:00	2A19 国内大学研究者におけるアントレプレナーシップの現状 渡部俊也（東大先端研），○緒方三郎（未来工研），小林俊哉（東大先端研）…294	2B19 エンタテインメントロボットの市場形成に関する要因分析—「AIBO」の事例を中心にして— ○堀内 修，亀岡秋男（北陸先端科学技術大学院大）……399
14:15	2A20 産学連携プロフェッショナルズの活動と今後の展開 砂田向彦（九州芸術工科大），品田 茂（九州大），○谷口邦彦（大阪大）…298	2B20 新製品の最適な市場導入タイミングを実現するシーズ提案型研究開発マネジメント手法 ○石黒 周（科学技術振興事業団／東大総合），丹羽 清（東大総合）……403

C会場（中会議室1）	D会場（中会議室2）	
一般講演 NIS 座長 下田 隆二	一般講演（ホットイシュー） ストック型社会と科学技術 1 座長 馬場崎 正博	
2C15 地球規模変動研究における科学と政策の相互構築 ○竹下寿英（麻布大産業環境研）……503	2D15 環境・経済・生活の諸問題を統合的に解決するモデル（ストック型社会システム）の考え方 ○岡本久人（九国大次世代システム研）……626	13:00
2C16 国家技術同化能力の向上要因とその構造分析 ○浜中淳一，渡辺千仞（東工大社会理工学）……507	2D16 地球環境・資源問題からみた「ストック型社会への転換」の必要性 ○森谷 賢（環境省）……630	13:15
2C17 Impacts of Functionality Development on Dynamism between Learning and Diffusion of Technology ○Behrooz Asgari，渡辺千仞（東工大社会理工学）……511	2D17 木質資源を指標にした資源自律型地域圏Ⅰ：基本的な考え方 ○川井秀一（京大木質科学研），佐藤庸一（福岡県水産林務部），馬場崎正博（福岡市保健環境研），岩本 浩（環境テクノス）……634	13:30
2C18 情報通信社会における日本的インスティテューションの潜在的柔軟性の実証分析—ITの普及とインスティテューションの共鳴的二重スパイラルメカニズムの分析— ○近藤玲子（総務省），渡辺千仞（東工大社会理工学）……515	2D18 木質資源を指標にした資源自律型地域圏Ⅱ：福岡県における事例について ○佐藤庸一（福岡県水産林務部），馬場崎正博（福岡市保健環境研），岩本 浩（環境テクノス），川井秀一（京大木質科学研）……638	13:45
2C19 Information Technology and the Effectiveness of Institutional Systems in Turbulent Times: A Comparative Analysis of the U.S.-Japan ○グリフィーブラウン チャーラ，渡辺千仞（東工大社会理工学）……519	2D19 工業地帯における自然共生型環境創成の考え方 岡本久人（九国大次世代システム研），薛孝夫（九大農学研究院），○神力潔司（九国大次世代システム研），岩本 浩（環境テクノス）……642	14:00
	一般講演（ホットイシュー） ストック型社会と科学技術 2 座長 森谷 賢	
2C20 製造プロセス技術のスピルオーバー同化能力に関する一考察—日本の産業用ロボット生成期を例として— ○北 真収（野村総研），渡辺千仞（東工大社会理工学）……523	2D20 長寿命型素材／シーズ技術 1—金属素材（鋳物の例）— ○是永逸夫（北九州産業学術推進機構／元日立金属），石原安興（山口大／日立金属）……646	14:15

10月26日（土）14:30～16:30

	A会場（大研修室）	B会場（中研修室）
14:30	2A21 米国技術移転人材のキャリアパス ○隅藏康一（政策研究大学院大）……302	2B21 経済性価値評価におけるビジネスモデルの役割 ○阿部仁志（沖電気），黒須 豊（東大）……407
14:45	2A22 知財創造マネジメント教育による知財人材育成と知財専門職大学院構想 ○渡部俊也，玉井克哉（東大先端研）……306	2B22 新しい研究開発プロジェクト評価手法の有効性の検証 ○大澤良隆（住友電工）……411
15:00	2A23 大学における起業家育成の新しいコンセプト ○塚越雅信（インクタンク・ジャパン），Karl Ruping（incTANK Inc. U.S.A.），渡部俊也（東大先端研）……310	2B23 特許評価のモデル論的研究 岡谷 大（千葉工大），○村上忠良（パテントアドバイザー），竹森利清（技術士），森田富士男（つくば国際短大），太田哲夫（CEAR登録審査員）……415
15:15	2A24 学生ビジネスプランコンテストの新しい試み ○西村由希子（東大先端研），大野一樹，比毛智一（学生ビジネス研究会），渡部俊也（東大先端研）……314	2B24 日本企業における技術革新資産のマネジメントに関する分析 藤末健三，○山口 亮（東大工学）…419
15:30	2A25～2A26 討論	休憩
		一般講演 技術経営 2 座長 斎藤 一雄
15:45		2B26 CTOに関する研究動向と我が国における実践 ○安永裕幸，藤末健三（東大工学）…423
16:00	休憩	2B27 企業における研究開発活動の組織化プロセスと組織化モデル ○李 只香（九州共立大経済）……427
	一般講演（ホットイシュー）産学連携 4 連携による研究開発事例と産学官連携のあり方 座長 近藤 正幸	
16:15	2A28 触媒技術開発とその特許をめぐる産官学 ○浅岡佐知夫（北九州市立大）……318	2B28 企業組織における技術志向型イノベーターのマネジメントに関する調査 ○坂戸典央，亀岡秋男（北陸先端科学技術大学院大）……431

C会場（中会議室1）	D会場（中会議室2）	
2C21 IT投資加速とその政策誘発効果とその波及効果分析 ○魏 海洪，渡辺千仞（東工大社会理工学）……………527	2D21 長寿命型素材／シーズ技術2—金属素材（鉄鋼等の例）— ○宮前 収，水口政義（新日本製鐵）……………650	14:30
2C22 イノベーション普及プロセスのモデル—日本の太陽電池によるケーススタディー— ○藤 祐司，渡辺千仞（東工大社会理工学）……………531	2D22 長寿命型素材／シーズ技術3—煉瓦、セラミック系素材の例— ○井本達夫（黒崎播磨）……………653	14:45
休憩	2D23 長寿命型素材／シーズ技術4—高耐久化木材の開発— ○松山拓郎（福岡県工業技術センター）……………657	15:00
一般講演 R on Rと評価1 座長 渡辺 千仞		
2C24 IMD 科学技術 World Competitiveness の時系列分析 ○丹羽富士雄（政策研究大学院大／文科省・科学技術政策研），桑原輝隆（文科省・科学技術政策研）……………535	2D24 長寿命型建築技術：S I 工法の考え方とその事例 ○林 明夫（NKK）……………660	15:15
2C25 米国における公的研究開発の評価手法 ○齋藤芳子，富澤宏之（文科省・科学技術政策研），小林信一（筑波大学学研／文科省・科学技術政策研）……………539	2D25 生活のゆとりを生み出す資源循環型住宅—持続可能な社会に向けた住宅の経済性評価— ○五十嵐健（不動建設）……………664	15:30
2C26 競争的資金の制度設計に関する考察 ○勝本雅和（東工大社会理工学）……………543	2D26 環境事業と排出量取引 ○国井茂樹，石田 康（日立製作所）……………668	15:45
	一般講演（ホットイシュー） ストック型社会と科学技術3 座長 川井 秀一	
2C27 書誌計量的手法によるピアレビューの支援可能性の再検討 ○林 隆之（大学評価・学位授与機構）……………547	2D27 未来の社会変化等に適応する都市設計の考え方 岡本久人（九国大次世代システム研），○森岡侑士（九産大工学），佐藤俊郎（環境デザイン機構）……………672	16:00
2C28 第1期及び第2期科学技術基本計画における政府研究開発投資目標について ○下田隆二（東工大フロンティア創造共同研）……………551	2D28 ストックとしての都市景観 森岡侑士（九産大工学），○佐藤俊郎（環境デザイン機構）……………674	16:15

10月26日（土）16:30～18:15

	A会場（大研修室）	B会場（中研修室）
16:30	2A29 廃プラスチック(含ポリ塩化ビニール)における社会的課題と産学官共同研究 長田純夫（福岡大），○尾形昌彦（尾形総合研究所），木藤武利，吉永鐵大郎（九工大），市来知幸（三菱化学）……………322	2B29 技術経営における知識構造のあり方—知の連鎖の設計— ○平澤 冷（政策研究大学院大／北陸先端科学技術大学院大）……………435
16:45	2A30 大学開放七つの小道具—産・学・官交流を中心に— ○大庭茂美（九州女子大）……………326	2B30 組織における知の活用—ソフトウェア企業の実証分析を通じて— ○犬塚 篤，中森義輝（北陸先端科学技術大学院大）……………439
17:00	2A31 産学官連携への提言—コーディネーターの立場から— 内田健一，○沼尻健次（北九州産業学術推進機構）……………330	2B31 ファインセラミックス構造材料における機能性開発についての実証分析 ○大村 昭（日本ガイシ），森崎省吾，渡辺千仞（東工大社会理工学）……………443
17:15	2A32 これからの産学連携が目指すもの ○田中洋征，平川 実，坂本弘明（九工大）……………334	2B32 製薬業界の高収益構造—企業内製品間の技術スピルオーバーに視点を据えた分析— ○畑仲卓郎，渡辺千仞（東工大社会理工学）……………447
17:30	2A33～2A35 討論	2B33 企業体におけるERPを軸としたITの自己増殖的機能発現メカニズムの検証 ○保々雅世（ヴァリアネット・ジャパン），渡辺千仞（東工大社会理工学）……………451
17:45		2B34 イノベーションの新過程：プロセス先行型イノベーションによる産業勃発（バイオ産業）の実証 ○高山 誠（山之内製薬／東工大経営工学／早大アジア太平洋研），渡辺千仞（東工大社会理工学）……………455
18:00		2B35 コア特化しつつコアシフトする“イノベーションの矛盾”を解決するための組織の要件 ○高山 誠（山之内製薬／東工大経営工学／早大アジア太平洋研），渡辺千仞（東工大社会理工学）……………459

C会場（中会議室1）	D会場（中会議室2）	
2C29 研究開発統計におけるFTEの概念・原理の 問題点 ○富澤宏之（文科省・科学技術政策研）555	2D29 まちづくりの課題—商店街の再生課題とそ の考え方— 岡本久人（九国大次世代システム研），○ 現海 隆（アセットプラン・ジーエム）678	16:30
2C30 IMD による World Competitiveness 指標 の分析—科学技術分野— ○丹羽富士雄（政策研究大学院大／文科 省・科学技術政策研）.....559	2D30 Building for Long Life – cultural influences ○W. J. Batty（Cranfield University at Kitakyushu）.....682	16:45
一般講演 R on R と評価 2 座長 小林 曉 肇		
2C31 イノベーションに関する総合的指標開発の 試み（第1報）—イノベーション・イン デックスの検証と研究アクティビティー ○原陽一郎（東レ経営研／長岡大），福岡 忠治，黒田明生，武澤 泰（東レ経営 研），佐久田昌治（日本総研），能見利彦 （経産省）.....563	2D31 ストック型社会と市民生活—住宅関連支出 と環境負荷を中心として— ○坂本 圭（平成総合鑑定所福岡），松本 亨（北九州市立大国際環境工学）.....687	17:00
2C32 イノベーションに関する総合的指標開発の 試み（第2報）—仮想的知識ストックを ベースとしたGDP近似モデル— ○原陽一郎（東レ経営研／長岡大），福岡 忠治，黒田明生，武澤 泰（東レ経営 研），佐久田昌治（日本総研），能見利彦 （経産省）.....567	2D32 ストック型社会への転換プログラム（個別 施策）の提案 ○廣原浩一（平成総合鑑定所福岡）...689	17:15
2C33 鉱工業技術研究組合40年の推移 ○吉川宗史郎（技術研究組合フェムト秒テ クノロジー研究機構）.....571	2D33 ストック型社会形成の政策的有効性 ○平澤 冷（政策研究大学院大），矢澤信 雄（東大総合）.....693	17:30
2C34 産業ロードマップの形態分析とイノベー ション創出に及ぼす効用および課題 ○鶴井由佳，亀岡秋男（北陸先端科学技術 大学院大）.....575	2D34～2D35 討論	17:45
		18:00